

感染症情報 5月14日～20日

府下小児科197医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	1761例(堺市	88例)
②溶連菌感染症	591例(堺市	59例)
③咽頭結膜熱	170例(堺市	12例)
④突発性発疹	121例(堺市	8例)
⑤みずぼうそう	87例(堺市	5例)

府下インフルエンザ定点303医療機関(堺市27)から

インフルエンザ	30例(堺市	3例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比9.4%増の2,902件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、咽頭結膜熱、突発性発疹、みずぼうそうの順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より9%増、堺市では前週より38%増であった。溶連菌感染症は府下で前週より17%増、堺市で前週37例→今回59例の59%増であった。咽頭結膜熱は府下で前週比17%増、堺市で前週9例→今回12例であった。みずぼうそうは府下で前週より7%減、堺市では前週が2例→今回が5例であった。

先週堺市で要警戒とした流行性角結膜炎(いわゆる「はやり目」)は前週12例→今回6例となっている。

大阪府で麻疹はなかったが、風疹の報告が1例あった。